

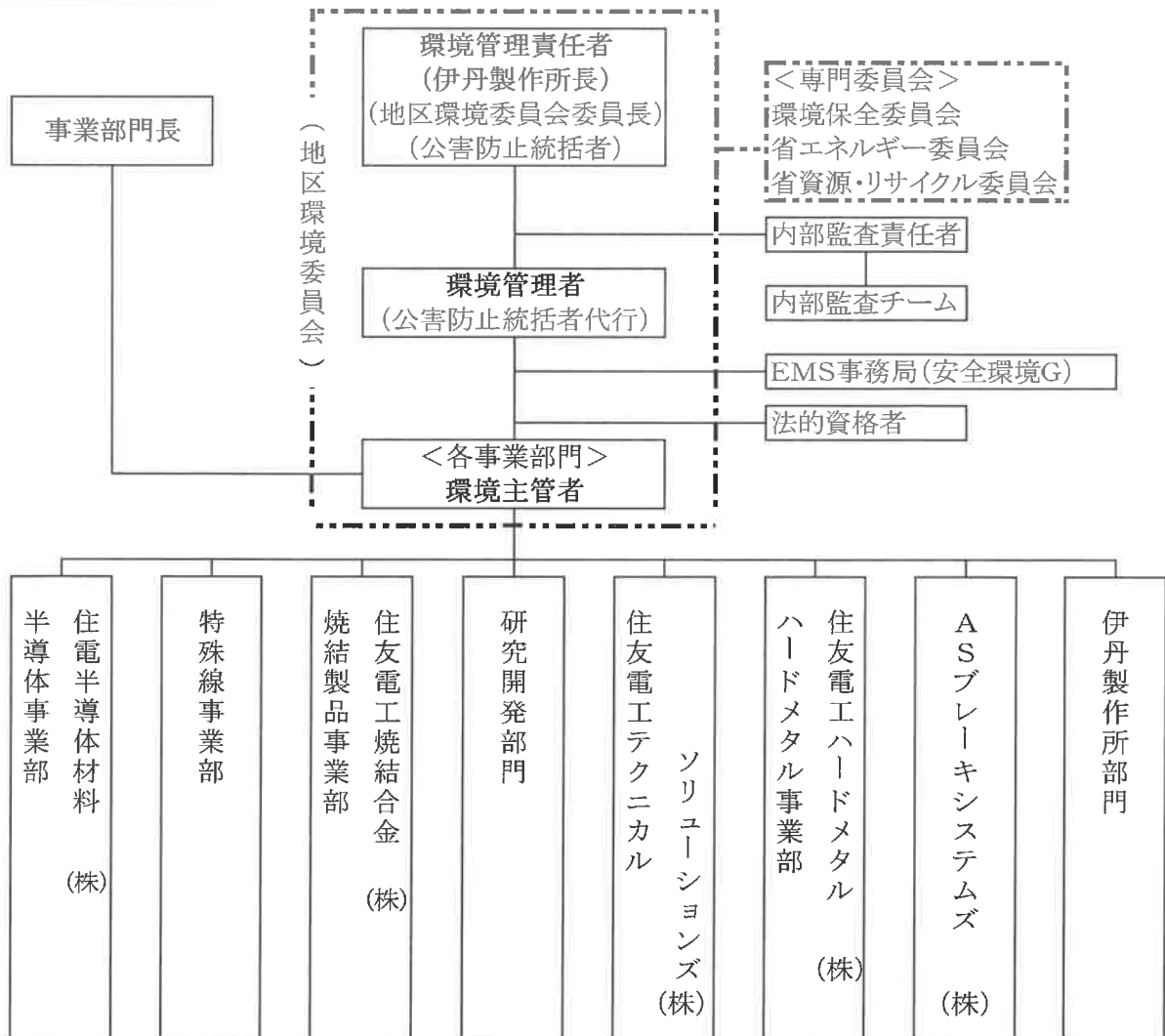
1 2021年度環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

1. SEQCDD活動を強化する。S(安全)・E(環境)・Q(品質)・C(コスト)・D(物流・納期)・D(開発)
 - ・計画的活動と継続的改善を行いパフォーマンスを向上させる。
 - ・環境負荷の低減に配慮した次の活動に重点的に取り組む。
 - (1) 生産性向上及び高効率機器の導入とムダな動力排除による省エネルギーの推進
 - (2) 廃棄物排出量の削減と分別回収・有価物化による省資源・リサイクルの推進
 - (3) 汚染の予防
 - (4) 所内緑化の推進
 - (5) 生物多様性事業への参画
 - ・環境に配慮した製品の提供を拡大し、顧客要求への対応を進める。
2. 環境マネジメントシステム運用の強化と拡充を進める。
 - ・ISO14001に基づく環境マネジメントシステムに従い、汚染の予防、環境負荷の低減、及びその継続的改善に努める。
 - ・全従業員に対して環境方針を周知するとともに、環境保全に対する意識向上のための教育を実施する。
3. コンプライアンスの維持向上を進める。
 - ・環境に関連する法令、条例、協定、その他の要求事項の順守はもとより、自主管理基準を設定しその維持・向上を図る。

1-2 環境保全活動に関する組織体制

環境保全組織図



別紙2

2 環境保全活動の実施状況等 【アクションECO-22V 2018年から5年計画】

項 目	指 標	2022年度目標	2020年度目標	2020年度実績	2020年度実績と目標の差異分析及び今後の取組計画
ゴミ分別の徹底	-	異物混入の 呼び出し件数 0件	20件以下	32件 (×)	【2020年度実績】 2019年度実績は25件と、2018年度から4分の1以下まで大幅に改善した為 2020年度については20件以下と、2022年の0件に照準を合わせた目標とした。 しかし1/四期こそ成績が良かったものの、2/四期以降は分別間違いが増加し、未達となった。 【2021年度目標】 2021年度については2022年度の「10件」に向けて、今年度は「10件以下」と厳しい目標を立てた。 この目標を達成する為、ゴミ分別の意識を高める為のクリーンブランド見学ツアーや、認識教育、 環境保全委員会での分別状況のチェックなどを行う。 【2020年度実績】 新型コロナウイルス感染拡大に伴う生産量の鈍化に伴って原単位が悪化した結果、 大幅な未達となった。 【2021年度目標】 伊丹製作所の廃棄物の中でも大きなウェイトを占めるASBのMGUの有価物化や 地道な分別による廃棄物低減で2017年度対比0%以上の低減を目指す。 【2020年度実績】 廃棄物同様原単位が悪化したものの、各部門の地道な活動と、マグネシウム合金の生産増で大幅達成となった。 【2021年度目標】 2020年度までの活動を継続し、生産向上、省エネ機器の導入や付機電力等ムダな動力を削減し 2017年度対比10%以上の低減を目指す。
省資源リサイクル	廃棄物 原単位(%)	2017年度対比 5%以上低減	▲9%以上低減	▲11.5% (×)	
省エネ	省エネ 原単位(%)	2017年度対比 5%以上低減	8%以上低減	13.2% (○)	

項 目	取 組 結 果	今後の取組計画
環境教育	* 環境ISO14001認識教育 (1回/年 全従業員約3,500名に対し実施) ・教育内容 ①住友電工グループの環境活動について ②伊丹製作所の環境方針について ③各部門の目的・目標について ④地球環境問題について ⑤廃棄物の分別について * 環境特定施設届出実務研修 (2回/年 設備設計者に対し実施 2020年度実績:5名) ・教育内容 ①大気関係:大気汚染防止法 / 兵庫県条例 ②水質関連:瀬戸内海環境保全特別措置法 下水道法 ③騒音・振動関連:騒音規制法 / 振動規制法 兵庫県条例 * ISO内部監査員養成教育 * 新任主席安全環境研修 * 新任基幹職補安全環境研修 * 新任統括職安全環境研修 * 監督者養成講座 * 指導者養成講座 * 中途採用社員教育 * 技術研修生教育 * 工場安全・防災教育 * 新任主代研修	環境経営の推進にあたり全従業員の環境意識の向上と環境知識のレベルアップを図ることが重要であるので、受講者にわかりやすく、効率良く継続的に実施して行く。
地域貢献活動	* 地域とのコミュニケーション ・稲荷祭 } 製作所を開放し地域の皆様や社員家族との ・緑花祭 } 交流の場になっている。 ・市民活動「伊丹の自然を守り育てる会 森部会」に参画。 (1回/月 数名/回参加) ・伊丹市EMS監査に参画。 ・トライやるウィーク。(伊丹市内の中学生の受け入れ) ・伊丹製作所周辺清掃活動。(3回/年 約30名/回)	・地域住民や行政が行う環境行事に積極的に参加する。 *2020年度については新型コロナウイルス感染防止の為に ・稲荷祭の開放を中止 ・緑花祭を取りやめ ・森部会は感染縮小期のみ参加 となった。